

**令和4年度  
自己点検・自己評価/学校関係者評価 報告書**  
(専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版)

令和5年6月9日

専門学校浜松医療学院

## 教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念	令和4年度 重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p style="text-align: center;">【 教育理念 】</p> <p>学問を通して自己を磨き、豊かな人間性をはぐくみ、優れた感性と理性を養い、新しい時代に求められる医療人を育てる。</p> <p style="text-align: center;">【 アドミッションポリシー 】 (教育の理想とする学生像)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学業に対して意欲的・自主的に学べる者</li> <li>2. 社会の一員として、基本的なルール・マナーを身に付けている者</li> <li>3. 対人関係を良好に作り出していくコミュニケーション能力がある者</li> <li>4. 人の痛みや苦しみを理解できる者</li> </ol>	<p style="text-align: center;">【 学生教育の改善 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある教育の展開およびカリキュラムの改善により選ばれる学校づくりに取り組む。</li> <li>・業界・学生のニーズに即した就職指導と支援体制をつくり、専門職内定率を高める。</li> </ul> <p style="text-align: center;">【 学生募集充足率向上 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標定員確保に向けた募集活動を実践する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">【 計画的学校運営の推進 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来ビジョンを見据えて、第一期中期計画に沿った業務を着実に実行する。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">【 学生教育の改善 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある教育とカリキュラム改善＝中期的課題として取り組みを継続する。</li> <li>・退学者率：5.2% (0.6%減)</li> <li>・国家試験合格率 鍼灸学科：80.0% (-10.9%) 柔道整復学科：90.3% (+18.3%)</li> <li>・認定試験合格率 アスレティックトレーナー学科 理論試験：100% 実技試験：未発表※ <small>※自己点検自己評価実施時点</small></li> </ul> <p style="text-align: center;">【 学生募集充足率向上 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員充足率：92% 前年比+9.6%</li> </ul> <p style="text-align: center;">【 計画的学校運営の推進 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一期中期計画の総合評価と第二期中期計画の立案・進行を行う。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">【 課題 】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の蔓延から3年が経過するが、社会全体は徐々にコロナ禍前の状態に戻りつつある。しかし、教育現場はこの3年で大きく変化しており、引き続き感染症対策を講じて学校の安全を確保しながらも、教育ならびに学生募集活動に求められる新たな工夫と起こりえる変化と課題に迅速に対応できる体制づくりが必要となる。</p> <p style="text-align: center;">【 解決方法 】</p> <p>職員一人ひとりが個々で考えながら、各部署～学校全体に波及する課題解決体制をつくり、多面的に改善活動に取り組む組織作りを継続する。令和5年度から新たにに取り組む第二期中期計画の達成に向けて、第一期活動の評価と次に繋げる綿密な計画立案が大事になる。</p>

### 【 自己点検・自己評価報告書記載に関する事項 】

教職員 25 名を対象に専門学校等評価基準 Ver.4.0 (特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構：学校評価ハンドブックより) における全点検項目についてアンケート調査を実施した。各課題については次年度の改善活動につなげることを目的としてアンケート調査で得られた意見を参考に取り纏めて記載している。

< 大項目基準1 教育理念・目的・育成人材像 >

◆点検中項目1 理念・目的・育成人材像

小項目	自己点検・自己評価	備考
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	本校ホームページにも各項目を記載し、学内外への周知にも努めている。また、アドミッションポリシーを各教室に掲示することで学生全体の目標像として浸透を図っている。	
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	学校評価専門部会ならびに教育課程編成専門部会での意見を参考に、教育・指導内容の充実に向けた協議を実施している。	学生のコミュニケーション力が向上できる取り組み強化が求められる。
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	教職員ひとりひとりが理念を意識しながら、臨床現場で活かせる現場実習や附帯教育・特別講座の充実を図っている。	
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	医療・健康・スポーツ・美容分野で活躍できる人材育成を目標としている。将来構想を具現化する取り組みを確実に進めることが求められる。	ニーズの解離が生まれないよう業界との意見交換は積極的に行いたい。

基準1 大項目総括	学校関係者評価
開校から22年が経過し、社会や業界のニーズも少しずつ変化していると感じる。職業教育や人材育成に社会や業界が求めるものを敏感に察知して取り入れる姿勢を常に持って取り組む。	この3年間は新型コロナウイルス感染症の蔓延もあり、対応が非常に困難な時期ではあったが、学校の教育理念に則り常に変化に対応していくことが必要である。 社会・業界ニーズのみならず、学生や保護者のニーズ把握とそれに応える教育に期待する。

< 大項目基準 2 学校運営 >

◆点検中項目 2 運営方針

小項目	自己点検・自己評価	備考
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	中期運営計画第一期 3 ヶ年（令和 2～4 年度）を終えた。令和 5 年は理念に沿いながら第二期計画を立案して運営方針をさらに明確に打ち出せるよう取り組む。	

◆点検中項目 3 事業計画

小項目	自己点検・自己評価	備考
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	学校運営計画の重点目標をベースとして各部署・各学科にて達成に向けて臨んでいる。	より見える形での PDCA 活動にしたい。

◆点検中項目 4 運営組織

小項目	自己点検・自己評価	備考
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	法人は 2 校（本校・富士校）を統括的に運営している。また円滑な組織運営に向け、新たに理事と両校管理職による定例協議の場を設けた。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	学校運営のための組織整備は法人本部との協議により行っている。また運営組織図を学生便覧にて明示している。	職員全体が組織体制を敷いて望んでいることを意識できるようにしたい。

◆点検中項目 5 人事・給与制度

小項目	自己点検・自己評価	備考
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	人事・給与規程は法人規程集により定められている。また理事による規程の見直しが進められている。職員が制度をより明確に理解できるよう、法人からの説明の機会をもらえるよう働きかけたい。	

◆点検中項目 6 意思決定システム

小項目	自己点検・自己評価	備考
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	学内における意思決定は各種会議（部長会、運営会議、教務委員会）での協議のもと学院長による最終決定がなされている。法人の意思決定は寄付行為により評議員会・理事会で行うことが定められている。	

◆点検中項目 7 情報システム

小項目	自己点検・自己評価	備考
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	法人・学内で共通のグループウェアを使用することにより、学内業務だけでなく、各種申請等も効率化や一元管理化が図られている。さらに DX 化を進めるにあたっては法人と学校間での綿密な事前協議が求められる。	

基準 2 大項目総括	学校関係者評価
新たに立ち上げた協議会で法人本部と学校間の連携が強固になることを期待する。今後は私立学校法の改訂も視野に評議員会・理事会を通じた円滑な運営と連携体制の強化に努めたい。	学校運営は法人本部と学校間の共働と連携により成り立つものである。今後の協議会の役割に期待を求めたい。

< 大項目基準3 教育活動 >

◆点検中項目8 目標の設定

小項目	自己点検・自己評価	備考
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	教育課程編成部会を設置し、外部委員（公益社団法人理事職）の意見も参考にしながら改善策を検討している。	業界と教育現場それぞれの認識課題に対して、常に共有と相互理解ができるよう努める。
小項目	自己点検・自己評価	備考
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	各学科長が中心となり、学科全体・学年担任との協議により教育の到達目標を定めている。年度末の学生成績評価の結果から翌年度に向けた見直しを図っている。	

◆点検中項目9 教育方法・評価等

小項目	自己点検・自己評価	備考
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	教育課程編成部会および教務委員会で対応している。学生の学業修得と資格取得に向けてより良い教育課程が編成できるよう見直しを進める。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	教育課程編成専門部会委員を各公益社団理事職より選任することにより外部の意見反映につとめている。	

小項目	自己点検・自己評価	備考
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	新入生の入学前授業から各学年次でも職業観を育成する教育内容の充実を図り、3年間を通じて取り組むようにしている。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
3-9-4 授業評価を実施しているか	各期（前・後期）にて授業評価アンケートを実施している。姉妹校である富士リハビリテーションとの授業観察交流も継続している。	授業評価のフィードバックから学生にも改善が感じられる取り組みに発展させたい。

◆点検中項目 10 成績評価・単位評価等

小項目	自己点検・自己評価	備考
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価・単位認定基準は学生便覧に試験規程として記載している。各定期における学力形成目標達成のため、補習ならびに学力考査を実施している。学生には最後まで諦めない姿勢を持ってもらえるよう取り組んでいる。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	学生の学術発表や各種大会等への参加結果は、校内に掲示物や表彰物展示などで周知している。※令和4年度は日本赤十字社静岡支部の救急法競技会で学内クラブが総合優勝を獲得した。	

◆点検中項目 11 資格・免許の取得支持体制

小項目	自己点検・自己評価	備考
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	本校の教育課程最終目的は国家資格・認定資格の取得であり、明確化されている。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	各学年における到達目標を達成し、最終学年（3年生）では模擬試験と各成績結果による学習指導を実施している。模擬試験成績結果をもとに学生との個別面談を行い、学習の悩みや躓きの把握にも努めている。	

◆点検中項目 12 教員・教員組織

小項目	自己点検・自己評価	備考
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	すべての教員および講師は資格・要件を備えている。新規採用等においては管轄機関への資格要件確認を欠かさず行っている。	教員組織の年齢構成も踏まえた計画的な人員確保が課題となる。
小項目	自己点検・自己評価	備考
3-12-2 教員の資質向上への取り組みを行っているか	業務と学内行事の過重により教員からのアンケート回答では研修機会は減少しているとの回答もある。教員個々の努力に委ねるのみでなく、将来的な教育展開を視野に組織的規模で研修計画を立てての実行が必要になる。	



小項目	自己点検・自己評価	備考
4-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教員は各学科に配属されて、学科長を中心に組織的に活動している。また、教務部長と学科長で組織される教務委員会での協議により、教員全体で組織的な取り組みを行えるようにしている。 ※学生に充分対応できるようにしたい。	

基準 3 大項目総括	学校関係者評価
教員の業務の過重により学生への対応時間を充分に取れないという結果につながらないように努めなければならない。 今後も学生の満足度の高さが教育活動の充実の結果と考えて取り組む。	職業教育として資格取得と就職支援に大きな力を注いでいることがうかがえる。各種試験難易度が年々変化している状況ではあるが、資格取得に偏ってしまうことないよう常に意識しておきたい。

< 大項目基準4 学修成果 >

◆点検中項目 13 就職率

小項目	自己点検・自己評価	備考
4-13-1 就職率の向上が図られているか	卒業時の求職者就職率は目標に到達しており、今年度も早期に就職が内定する者が多かった。キャリア教育行事である就職説明会は全学年参加型であり、就職に関する意識づけを全学年対象に実施している。	

◆点検中項目 14 資格・免許の取得率

小項目	自己点検・自己評価	備考
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	最終学年では総合試験結果に準じた学力対策を実施している。各学科・学年単位での学力対策も担任が中心となり毎年の改善を試みながら早期に対応するよう努めている。既卒者への対応は課題の一つである。	

◆点検中項目 15 卒業生の社会的評価

小項目	自己点検・自己評価	備考
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	学内職員に同窓会担当を配置して同窓会活の活性化を通じた卒業生支援に努めている。 現在、入試広報課も同窓会と協力して卒業生紹介冊子を作成している。	

基準4 大項目総括	学校関係者評価
同分野の養成校や試験合格率の全国平均比較から、改良・改善に向けた取り組みを継続する。学修成果は資格取得率として結果に表れるものであるため常に意識して取り組みたい。	産学連携強化を図りながら就職支援に取り組んでいることが分かる。学生が目先の就職だけに目を奪われないよう、将来への動機付け（開業等）も含めた「長期的な視点に立った職業観の育成」への取り組みにも期待する。

< 大項目基準5 学生支援 >

◆点検中項目 16 就職等進路

小項目	自己点検・自己評価	備考
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	就職支援に対して専任教員を担当として設置している。 担当教員の工夫と努力により、卒業時の就職内定率は目標値を達成することができている。	

◆点検中項目 17 中途退学への対応

小項目	自己点検・自己評価	備考
5-17-1 退学率の低減が図られているか	退学の原因となる主要因（学業成績不振）への対策として、試験結果に応じた補習活動を実施している。 また保護者からの支援を得るよう必要に応じて電話連絡や面談も実施している。	

◆点検中項目 18 学生相談

小項目	自己点検・自己評価	備考
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	各学科担任制を敷き、年度始めの面談から諸問題に関する学生相談を随時行いながら対応している。教員の介入が難しい場合にも、スクールカウンセラーによる「心の相談室」を設置することでバックアップ体制を敷いている。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	※留学生の受け入れは現状行っていない。	本校で取得する資格特性を踏まえると現状での受け入れは難しい。

◆点検中項目 19 学生生活

小項目	自己点検・自己評価	備考
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	公的支援制度への対応も含めた学生の就学に関する相談窓口として事務局に支援担当を配置している。本校 HP「学費サポート」を掲載して周知に努めている。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	毎年年度始めに学生健康診断を実施している。校医と連携して学生の健康相談に応じる体制を確保している。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	学生寮の設置はないが、遠方からの通学や学校近隣でアパート等を借りる場合の定額支援や不動産業者への紹介等の支援を実施している。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	学友会を中心に教員も協力して各種クラブの課外活動を支援している。学友会活動をサポートする教員も配置して支援に努めており、体育祭や各種イベントの充実にも貢献している。	教員の時間外対応と働き方改革の方向が相反する関係にあり改善が困難な課題でもある。

◆点検中項目 20 保護者との連携

小項目	自己点検・自己評価	備考
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	校友会総会・保護者会の開催により連携体制を構築している。 また毎月の学校情報をメールで保護者に配信する取り組みも行っている。	保護者との連携は教育における恒久的な取り組みとして重要である。

◆点検中項目 21 卒業生・社会人

小項目	自己点検・自己評価	備考
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	同窓会を中心に各種講習会・講演会を開催して卒業生の活動を支援している。学内職員に同窓会担当を配置して協力体制を構築している。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	産学連携強化のための特別授業や外部実習の取り組みを進めている。令和 4 年度は柔道整復学科が初めて外部施設での実習に取り組んだ。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	全日制への移行から社会人入学者は減少傾向にある。時間割の工夫や既履修単位の積極的な認定により社会人が働きながら資格を取得できる体制整備に努力している。社会人対象の入学金サポート制度による支援を行っている。	令和 4 年度学生募集では社会人入学者が増加した。

基準 5 大項目総括	学校関係者評価
<p>学生支援については学業面・心身の健康面・生活面などの多岐にわたる。教務部と事務局を含めた全員体制に保護者や外部有識者（カウンセラー・学校医）も加え、安心して学生が通学できるよう取り組む。</p>	<p>多様な学生への支援に苦慮することもあると思われるが、引き続きより良い人材育成に向けて邁進してもらいたい。</p>

< 大項目基準 6 教育環境 >

◆点検中項目 22 施設・設備等

小項目	自己点検・自己評価	備考
<p>6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか</p>	<p>施設・設備のメンテナンスは劣化・破損・故障の状況により順次対応しているが、予算内での修理・修繕が困難な場合もみられる。教育備品についても整備に着手している。より計画的な整備に努める必要がある。</p>	<p>学校と法人本部の連携による中長期のメンテナンス計画と予算の確保・積立を実行する。</p>

◆点検中項目 23 学外実習・インターンシップ等

小項目	自己点検・自己評価	備考
<p>6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか</p>	<p>柔道整復学科では感染症対策を講じながら数年来計画していた外部実習に取り組んだ。鍼灸学科は外部に実習を担当できる資格要件者が少ないことが進行上の課題となる。</p>	<p>実施体制の充実化を図りたい。</p>

◆点検中項目 24 防災・安全管理

小項目	自己点検・自己評価	備考
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	防災マニュアル・地震防災計画を備えている。毎年9月に全学年を対象とした防災・避難訓練を実施している。	職員全体での防災意識向上。
小項目	自己点検・自己評価	備考
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	実技授業では複数の教員や助手を配置することで安全管理に努めている。また保険による学生24時間サポートを取り入れて学生に予期せぬトラブルがあった場合の支援ができるようにしている。	

基準 6 大項目総括	学校関係者評価
施設・設備の劣化や故障には可能なところから順次改修に努めている。学校と法人本部が連携をして予算確保や積立等による計画的な修理・修繕ができるようにする。	開校から23年が経過すれば、傷みの出てくる箇所も多くなることが十分に想定できる。施設設備の劣化や故障に対する改修は計画的に行い、継続的なメンテナンスと修繕により、学生が安心して学業に臨める環境の提供を継続して下さい。

< 基準7 学生の募集と受入れ >

◆点検中項目 25 学生募集と受入れ

小項目	自己点検・自己評価	備考
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	入試広報課職員の各高校進路課への定期訪問や高校教員対象の学校説明会の実施により本校教育活動の情報提供を行っている。また本校に入学した学生の近況報告にも努めている。中学生への職業教育・上級学校教育にも協力している。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	事務局に入試広報課を配置して計画的に学生募集に取り組んでいる。学院長の統率のもと全職員が募集活動にも意識を持って取り組むようにしている。	

◆点検中項目 26 入学選考

小項目	自己点検・自己評価	備考
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	本校の入学選考基準は、募集要項に明記されている。またオープンキャンパスにおいて募集概要と入学選考について説明している。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	高校新卒入学内定者への入学前授業を実施しており、選考実績と合わせて入学内定者の状況把握に努めている。	非常勤講師も含めた情報共有が課題となる。



◆点検中項目 27 学納金

小項目	自己点検・自己評価	備考
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	学納金に関する変更はなく、学納金に関する記載は募集要項・学生便覧・ホームページを通じて周知に努めている。 今後は社会経済の変化に合わせた変更も視野に入れる必要が出てくる可能性もある。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	入学辞退者の納付金返還は入試要項に記載して明確に実施している。	

基準 7 大項目総括	学校関係者評価
感染症の影響を受けた社会状況は徐々に正常化しており、今後の学生募集動向も変化していくものと思われる。変化を見極め充分に対応できる募集計画と活動に心掛ける。	直近3年の学生募集が堅調に進んでいることは大きく評価できる。 魅力ある教育活動が学生からの注目を集める要素であることを踏まえて、募集定員確保に努めてもらいたい。

< 大項目基準8 財務 >

◆点検中項目 28 財務基盤

小項目	自己点検・自己評価	備考
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	法人運営については評議員会・理事会により定期的に確認がなされている。法人より具体的な長期計画示されれば、その計画を軸として学校運営に落とし込むことも可能になる。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	法人本部および理事会にて実施されている。学内での財務分析は学院長を中心として部長会、事務局で執り行っている。	

◆点検中項目 29 予算・収支計画

小項目	自己点検・自己評価	備考
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	学院長の掲げる中期計画を柱に学内に設置する会議や委員会で策定を行っている。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算計画は法人本部のヒアリングをもとに本部による最終確定が行われる。確定した年度予算を事務局が中心となり執行管理を行っている。	

◆点検中項目 30 監査

小項目	自己点検・自己評価	備考
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	会計監査は監事が適切に実行している。	

◆点検中項目 31 財務情報の公開

小項目	自己点検・自己評価	備考
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	財務情報をホームページ上で公開している。 今後行われる私立学校法の一部改正にもしっかりと対応して行きたい。	

基準 8 大項目総括	学校関係者評価
財務基盤安定化は教育活動の改善・充実の根幹となる。 法人本部・学校がそれぞれの役割を十分に果たすことができるように連携して取り組んで行きたい。	財務基盤の安定化は、教育活動の改善と充実のために非常に重要である。 大項目 2 と同様に法人本部と学校の共働と連携強化に基づいた財務基盤の安定に期待する。

< 基準9 法令等の遵守 >

◆点検中項目 32 関係法令・設置基準等の遵守

小項目	自己点検・自己評価	備考
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	学校教育法・専修学校設置基準・各種養成施設指定規則・関係法令を遵守し、適切に運営されている。	

◆点検中項目 33 個人情報保護

小項目	自己点検・自己評価	備考
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	事務局・電算管理室を中心に個人情報保護対策に努めている。学生便覧内に利用目的の達成に必要な範囲を超えた取り扱いをしないことを明記している。	

◆点検中項目 34 学校評価

小項目	自己点検・自己評価	備考
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	自己評価体制は整備されているが、より良い改善活動を目標に全職員参加型の体制構築に向けて取り組みたい。学校職員では法人本部の関係する部分について明確に把握評価できないので法人からも評価協力体制があるとよい。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	自己点検・自己評価・学校関係者報告書を学校ホームページ上で公開している。	

小項目	自己点検・自己評価	備考
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	評議員（卒業生・各業団関係者・有識者）による学校評価専門部会を開催し、学校関係者評価を行っている。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	自己点検・自己評価・学校関係者報告書を学校ホームページ上で公開している。	

◆点検中項目 35 教育情報の公開

小項目	自己点検・自己評価	備考
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	教育活動における取り組みや情報は、入試広報課により本校ホームページ上や各種ネットワークサービスを通じて積極的な公開に努めている。	

基準 9 大項目総括	学校関係者評価
学校全体を通して法令等遵守に努めている。また職業実践専門課程の認定校としての情報開示にも努めている。	養成施設の管轄機関（静岡県地域医療課）が実施している定期の調査も良好な結果であったとの報告を受けた。法令遵守は学校が社会的責任を果たし、適切な教育環境を提供するための基本的な要件である。今後もしっかりと努めてもらいたい。

< 大項目基準10 社会貢献・地域貢献 >

◆点検中項目 36 社会貢献・地域貢献

小項目	自己点検・自己評価	備考
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	地域社会貢献活動については、地元の中学校～高校のキャリア教育活動への協力に始まり、地域行事に関する本校施設および駐車場貸出などにも協力している。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	取得する資格特性もあり国際交流はなかなか行うことが困難である。	

◆点検中項目 37 ボランティア活動

小項目	自己点検・自己評価	備考
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	外部からの依頼に応えるよう取り組んでいるが、組織的なボランティア支援体制は整えられていない。教員が個々で対応していることもある。	

基準 10 大項目総括	学校関係者評価
社会貢献、地域貢献は学校として恒久的に取り組んでいくべきものである。教育分野（小・中・高）への対応は常に取り組めているので、社会・地域に広げられるよう努めたい。	社会や地域への貢献を通じて学生にさまざまな価値観や文化に触れさせることは、より広い視野を持ち、他者との共感や社会的な責任感を培うために非常に重要な取り組みとなる。その点を踏まえた充実に期待したい。

最終更新日付	令和5年6月9日	記載責任者	鈴木 康仁
--------	----------	-------	-------